

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2023.4.4	2023.4.4	
採取時刻			14:30	14:00	
全水深(m)			2.39	1.96	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(125)	
2			CHROOCOCCALES	(25)	
3			OSCILLATORIALES	(50)	
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	400	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	+	
6	不等毛植物	珪藻	Mallomonas sp.	+	
7			Asterionella formosa	8	+
8			Aulacoseira pusilla		+
9			Aulacoseira granulata		+
10			Fragilaria spp.	+	50
11			Melosira varians	+	
12			Nitzschia acicularis	100	900
13			Nitzschia fruticosa		+
14			Nitzschia spp.	25	75
15			Skeletonema potamos	46500	1975
16			Staurosirella berolinensis		100
17			Ulnaria japonica	125	575
18			Thalassiosiraceae-5	1625	8000
19			Thalassiosiraceae-10	1750	11250
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	
21			Chlorogonium spp.	25	175
22			Coelastrum sp.		+
23			Dictyosphaerium spp.	200	50
24			Elakatothrix sp.		+
25			Micractinium spp.	100	+
26			Monoraphidium spp.	75	425
27			Scenedesmus acuminatus	200	+
28			Scenedesmus spp.	150	300
29			Schroederia sp.	+	
30			Treubaria sp.		25
31			CHLOROPHYCEAE	200	425
32	輪形動物	輪虫	Collothea sp.	+	
33	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1	
34			多膜口	Tintinnidium spp.	+
35				POLYHYMENOPHORA	25
36			—	CILIOPHORA	+
37	不明プランクトン	—	微小鞭毛藻(5μm以下)	75	
38			鞭毛藻	75	
39			鞭毛虫	50	
総数			51759	26227	
種類組成					
藍藻			50	250	
クリプト藻			400	850	
渦鞭毛藻			0	0	
黄金色藻			0	0	
珪藻			50133	22925	
ユーグレナ藻			0	0	
緑藻			950	1500	
その他の植物性			150	450	
動物性			76	252	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2023. 4. 18	2023. 4. 18		
採取時刻		9:58	9:30		
全水深 (m)		2.28	1.80		
採取水深 (m)		0.50	0.50		
採水量 (ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(1)	
2			Pseudanabaena spp.	(10)	(25)
3			CHROOCOCCALES	(5)	(+)
4			OSCILLATORIALES	(5)	(50)
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	120	+
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	+
7	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	10	8
8			Aulacoseira ambigua		+
9			Aulacoseira pusilla	30	50
10			Aulacoseira granulata	+	+
11			Fragilaria crotonensis	+	
12			Fragilaria spp.	5	25
13			Melosira varians	+	50
14			Nitzschia acicularis	35	550
15			Nitzschia fruticosa	20	+
16			Nitzschia spp.	15	25
17			Skeletonema potamos	22350	90750
18			Staurisirella berolinensis		100
19			Ulnaria japonica	20	75
20			Ulnaria sp.	+	
21			Thalassiosiraceae-5	5350	3125
22			Thalassiosiraceae-10	1450	2375
23			Thalassiosiraceae-25	5	
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
25			Ankistrodesmus spp.	40	
26			Chlorogonium sp.		+
27			Chodatella quadriseta		+
28			Coelastrum spp.	40	+
29			Dichotomococcus sp.		+
30			Dictyosphaerium spp.	120	200
31			Micractinium spp.	30	700
32			Monoraphidium spp.	35	125
33			Mougeotia sp.	+	
34			Oocystis sp.	10	
35			Pandorina morum		+
36			Pediastrum duplex	+	+
37			Scenedesmus acuminatus		+
38			Scenedesmus spp.	230	400
39			Tetrastrum elegans	+	
40			CHLOROPHYCEAE	155	250
41	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
42			Synchaeta sp.		1
43			Collothecidae		+
44	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
45			Tintinnidium sp.		+
46		多膜口	POLYHYMENOPHORA	35	+
47		-	CILIOPHORA	15	75
48	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		+
49		真正太陽虫	HELIOZOA	+	
50	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	50	50
51			鞭毛藻	125	25
52			鞭毛虫	125	100

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 4. 18	2023. 4. 18
総数		30441	99134
種類組成	藍藻	21	75
	クリプト藻	120	0
	渦鞭毛藻	0	0
	黄色藻	0	0
	珪藻	29290	97133
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	660	1675
	その他の植物性動物性	175	75
	175	176	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2023. 5. 12	2023. 5. 12
採取時刻			10:24	9:40
全水深 (m)			2.18	1.75
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Coelosphaerium sp.	(+)
2			CHROOCOCCELES	(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	750 (525)
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10 (25)
5	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	60
6			Aulacoseira pusilla	80
7			Aulacoseira granulata	400
8			Melosira varians	+
9			Nitzschia acicularis	10 (75)
10			Nitzschia fruticosa	60 (+)
11			Nitzschia spp.	5 (+)
12			Skeletonema potamos	57300 (44250)
13			Staurosirella berolinensis	+
14			Ulnaria japonica	10
15			Thalassiosiraceae-5	1300 (1875)
16			Thalassiosiraceae-10	700 (950)
17			Thalassiosiraceae-25	5
18	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus spp.	20 (+)
19			Crucigeniella crucifera	+
20			Dictyosphaerium spp.	40 (+)
21			Elakatothrix sp.	+
22			Micractinium spp.	40 (100)
23			Monoraphidium spp.	65 (50)
24			Oocystis spp.	20 (100)
25			Pandorina morum	+
26			Pediastrum boryanum	16
27			Pediastrum duplex	+
28			Pediastrum simplex	+
29			Scenedesmus bicaudatus	+
30			Scenedesmus denticulatus	+
31			Scenedesmus spp.	140 (+)
32			Treubaria sp.	5
33			CHLOROPHYCEAE	475 (425)
34	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+
35			Trichocercidae	+
36	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1 (2)
37		多膜口	Tintinnidium spp.	+
38			POLYHYMENOPHORA	35 (75)
39			CILIOPHORA	25 (50)
40	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
41	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	125 (225)
42			鞭毛藻	50 (175)
43			鞭毛虫	100 (250)

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 5. 12	2023. 5. 12
総数		61452	49710
種類組成	藍藻	5	125
	クリプト藻	750	525
	渦鞭毛藻	10	25
	黄色藻	0	0
	珪藻	59530	47550
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	821	707
	その他の植物性動物性	175	400
		161	378
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央				
採取年月日			2023. 5. 26	2023. 5. 26				
採取時刻			10:11	9:38				
全水深 (m)			2.36	1.79				
採取水深 (m)			0.50	0.50				
採水量 (ml)			100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.	(50)	(25)			
2			Pseudanabaena sp.		(+)			
3			CHROOCOCCALES	(+)	(50)			
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	900	675			
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+				
6	不等毛植物	黄緑藻	XANTHOPHYCEAE	25				
7			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1			
8			珪藻	Acanthoceras zachariasii	+			
9				Asterionella formosa	8			
10				Aulacoseira pusilla	125	+		
11				Aulacoseira granulata	+			
12				Fragilaria crotonensis	15			
13				Fragilaria spp.	+	25		
14				Nitzschia acicularis	50	150		
15				Nitzschia fruticosa	+	600		
16				Nitzschia spp.	125	100		
17				Skeletonema potamos	37000	42000		
18				Staurosirella berolinensis		+		
19				Ulnaria japonica	25			
20				Ulnaria sp.	+			
21				Thalassiosiraceae-5	1400	475		
22				Thalassiosiraceae-10	1050	1200		
23				Thalassiosiraceae-25	+			
24				緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	
25						Ankistrodesmus sp.		100
26	Coelastrum spp.	+				+		
27	Crucigeniella crucifera	+						
28	Dictyosphaerium spp.	+	+					
29	Golenkinia sp.		+					
30	Gonium sp.	32						
31	Micractinium spp.	+	+					
32	Monoraphidium spp.	50	25					
33	Pediastrum simplex	+						
34	Scenedesmus acuminatus	+						
35	Scenedesmus bicaudatus	+	100					
36	Scenedesmus spp.	200	750					
37	Schroederia spp.	+	+					
38	Tetraedron sp.	25						
39		CHLOROPHYCEAE	450	200				
40	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	+				
41	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps sp.		+			
42		貧膜口	SESSILIDA		3			
43		多膜口	Tintinnidium spp.	+	+			
44			POLYHYMENOPHORA	50	50			
45			CILIOPHORA	+	150			
46	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+				
47	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	150	325			
48			鞭毛藻	100	25			
49			鞭毛虫	100	225			

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 5. 26	2023. 5. 26
総数		41931	47253
種類組成	藍藻	50	75
	クリプト藻	900	675
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	39798	44550
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	757	1175
	その他の植物性動物性	276	350
		150	428
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2023. 6. 15	2023. 6. 15
採取時刻			9:55	9:22
全水深 (m)			2.27	1.71
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(+)
2			Merismopedia spp.	(75)
3			Pseudanabaena sp.	(+)
4			CHROOCOCCALES	(+)
5			OSCILLATORIALES	(25)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2875
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	25
8			Peridinium spp.	150
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	25
10		黄緑藻	XANTHOPHYCEAE	25
11		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	4
12		珪藻	Aulacoseira pusilla	50
13			Aulacoseira granulata	+
14			Fragilaria crotonensis	+
15			Fragilaria spp.	75
16			Nitzschia acicularis	25
17			Nitzschia fruticosa	+
18			Nitzschia spp.	+
19			Skeletonema potamos	20125
20			Staurosirella berolinensis	+
21			Thalassiosiraceae-5	2125
22	Thalassiosiraceae-10		1350	
23	Thalassiosiraceae-25	+		
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	25
25			Phacus sp.	25
26	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	50
27			Coelastrum spp.	400
28			Crucigenia tetrapedia	+
29			Crucigeniella crucifera	+
30			Dichotomococcus sp.	100
31			Dictyosphaerium spp.	200
32			Gonium sp.	+
33			Micractinium spp.	50
34			Monoraphidium spp.	+
35			Pediastrum duplex	16
36			Pediastrum tetras	+
37			Scenedesmus acuminatus	+
38			Scenedesmus spp.	50
39			Schroederia sp.	25
40			Tetraedron sp.	+
41			Treubaria sp.	+
42				CHLOROPHYCEAE
43	輪形動物	輪虫	Schizocerca diversicornis	+
44			Trichocercidae	2
45	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+
46		多膜口	Tintinnidium sp.	+
47			POLYHYMENOPHORA	25
48		-	CILIOPHORA	275
49	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	50
50		真正太陽虫	HELIOZOA	25
51	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	175
52			鞭毛藻	100
53			鞭毛虫	275

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 6. 15	2023. 6. 15
総数		28231	12803
種類組成	藍藻	0	100
	クリプト藻	2875	1200
	渦鞭毛藻	175	200
	黄色藻	0	25
	珪藻	23750	8200
	ユーグレナ藻	25	25
	緑藻	450	2591
	その他の植物性動物性	304	262
	652	200	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下		手賀沼中央		
採取年月日		2023. 6. 26		2023. 6. 26		
採取時刻		10:17		11:27		
全水深 (m)		2.30		1.75		
採取水深 (m)		0.50		0.50		
採水量 (ml)		100		100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.		(100)	
2			Merismopedia spp.		(175)	
3			Pseudanabaena spp.	(25)		(25)
4			CHROOCOCCALES			(50)
5			OSCILLATORIALES			(25)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1750	4500	
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+	+	
8			Peridinium spp.	75	200	
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		25	
10			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	5	45
11		珪藻	Acanthoceras zachariasii		+	
12			Aulacoseira pusilla	100	200	
13			Fragilaria spp.	+	+	
14			Nitzschia acicularis	100	375	
15			Nitzschia fruticosa	+	+	
16			Nitzschia spp.	175	650	
17			Skeletonema potamos	36500	2975	
18			Staurosirella berolinensis		+	
19			Ulnaria japonica		+	
20			Thalassiosiraceae-5	5500	3750	
21			Thalassiosiraceae-10	4125	1000	
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	200		
23			Chlorogonium spp.	100	175	
24			Chodatella sp.		+	
25			Coelastrum spp.	+	+	
26			Cosmarium sp.		+	
27			Crucigeniella crucifera	+	+	
28			Dichotomococcus sp.	+		
29			Dictyosphaerium spp.	200	1300	
30			Elakatothrix sp.		+	
31			Gonium spp.	32	80	
32			Micractinium spp.	150	200	
33			Monoraphidium spp.	25	+	
34			Oocystis sp.		+	
35			Pediastrum boryanum		+	
36			Pediastrum duplex		8	
37			Pediastrum simplex	+		
38			Pediastrum tetras		32	
39			Scenedesmus acuminatus		+	
40			Scenedesmus bicaudatus		100	
41			Scenedesmus spp.	100	500	
42			Schroederia spp.	25	25	
43			Tetraedron spp.		50	
44			Tetrastrum elegans		+	
45				CHLOROPHYCEAE	100	800
46			輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	
47	Polyarthra spp.				3	
48	Trichocercidae	+			7	
49	EUROTATOREA				2	
50	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	7	
51			POLYHYMENOPHORA	100		
52			—	CILIOPHORA	100	25
53	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+	
54	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	400	675	
55			鞭毛藻		225	425
56			鞭毛虫		400	900

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 6. 26	2023. 6. 26
総数		50514	19409
種類組成	藍藻	25	375
	クリプト藻	1750	4500
	渦鞭毛藻	75	200
	黄金色藻	0	25
	珪藻	46500	8950
	ユーグレナ藻	0	0
	その他の植物性	630	1145
	動物性	602	944
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2023.7.11	2023.7.11
採取時刻			9:35	10:00
全水深(m)			2.28	1.82
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(+)
2			Merismopedia spp.	(25)
3			Microcystis aeruginosa	+
4			Pseudanabaena sp.	(25)
5			CHROOCOCCALES	(50)
6			OSCILLATORIALES	(50)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	200
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+
9			Peridinium sp.	25
10	不等毛植物	ラフィド藻 珪藻	RAPHIDOPHYCEAE	2
11			Acanthoceras zachariasii	25
12			Aulacoseira ambigua	+
13			Aulacoseira pusilla	+
14			Aulacoseira granulata	+
15			Fragilaria sp.	+
16			Nitzschia acicularis	75
17			Nitzschia fruticosa	+
18			Nitzschia spp.	50
19			Skeletonema potamos	18000
20			Surirella sp.	1
21			Thalassiosiraceae-5	4750
22			Thalassiosiraceae-10	5500
23			Thalassiosiraceae-25	+
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+
26			Ankyra sp.	25
27			Ankistrodesmus sp.	+
28			Chlorogonium spp.	75
29			Closterium sp.	+
30			Coelastrum spp.	+
31			Crucigenia tetrapedia	+
32			Crucigeniella crucifera	800
33			Dictyosphaerium spp.	400
34			Elakatothrix sp.	+
35			Gonium sp.	16
36			Micractinium sp.	+
37			Monoraphidium spp.	50
38			Oocystis sp.	+
39			Pediastrum simplex	16
40			Pediastrum tetras	16
41			Scenedesmus acuminatus	+
42			Scenedesmus bicaudatus	+
43			Scenedesmus spp.	850
44			Schroederia spp.	100
45			Tetraedron sp.	+
46			Treubaria sp.	+
47			CHLOROPHYCEAE	125
48	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+
49			Polyarthra spp.	1
50			Schizocerca diversicornis	3
51			Trichocercidae	+
52			EUROTATOREA	2
53	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+
54			Tintinnidium spp.	2
55		多膜口	POLYHYMENOPHORA	+
56			CILIOPHORA	100
57	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
58	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	175
59			鞭毛藻	50
60			鞭毛虫	200

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 7. 11	2023. 7. 11
総数		31536	23331
種類組成	藍藻	75	500
	クリプト藻	200	1100
	渦鞭毛藻	0	25
	黄色藻	0	0
	珪藻	28376	19150
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	2357	1766
	その他の植物性動物性	225	402
		303	388
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2023.7.25	2023.7.25		
採取時刻		10:00	10:29		
全水深(m)		2.30	1.85		
採取水深(m)		0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100		
No.	門	網	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(25)
2			Merismopedia spp.	(225)	(125)
3			Microcystis aeruginosa	15	100
4			Pseudanabaena spp.	(25)	(25)
5			CHROOCOCCALES	(125)	(75)
6			OSCILLATORIALES	(75)	(300)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2700	2450
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	75	+
9	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira granulata		+
10			Nitzschia acicularis	375	650
11			Nitzschia fruticosa	100	+
12			Nitzschia spp.	375	750
13			Skeletonema potamos	1975	700
14			Staurosirella berolinensis		50
15			Thalassiosiraceae-5	47000	57000
16			Thalassiosiraceae-10	11000	17000
17	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	
18			Chlorogonium spp.	175	300
19			Chodatella wratislawiensis	+	
20			Crucigenia lauterbornii	200	
21			Dichotomococcus spp.	+	50
22			Dictyosphaerium spp.	+	700
23			Elakatothrix sp.	50	
24			Golenkinia sp.	25	
25			Gonium sp.		16
26			Lobomonas sp.		+
27			Micractinium spp.	+	100
28			Monoraphidium spp.	50	75
29			Oocystis sp.		100
30			Pandorina morum	+	+
31			Pediastrum duplex	16	16
32			Pediastrum simplex	+	
33			Pediastrum tetras	+	
34			Scenedesmus acuminatus		+
35			Scenedesmus bicaudatus	100	
36			Scenedesmus denticulatus	+	
37			Scenedesmus spp.	550	450
38			Schroederia sp.	25	
39			Treubaria spp.	+	25
40			CHLOROPHYCEAE	375	325
41	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		+
42			Brachionus spp.	+	+
43			Filinia sp.	+	
44			Polyarthra spp.	3	3
45			Trichocercidae	+	1
46			EUROTATOREA	+	
47	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps sp.		+
48		多膜口	POLYHYMENOPHORA		75
49		-	CILIOPHORA	+	75
50	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	400	125
51			鞭毛藻	200	150
52			鞭毛虫	200	100

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 7. 25	2023. 7. 25
総数		66434	81936
種類組成	藍藻	465	650
	クリプト藻	2700	2450
	渦鞭毛藻	75	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	60825	76150
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	1566	2157
	その他の植物性動物性	600	275
	203	254	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2023. 8. 9	2023. 8. 9
採取時刻			9:40	10:03
全水深 (m)			2.30	1.88
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)
2			Merismopedia spp.	(100)
3			Microcystis aeruginosa	+
4			Pseudanabaena spp.	(+)
5			Nostocaceae	(25)
6			CHROOCOCCALES	(50)
7			OSCILLATORIALES	(150)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1500
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+
10	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	150
11			Aulacoseira pusilla	
12			Aulacoseira granulata	250
13			Nitzschia acicularis	175
14			Nitzschia fruticosa	100
15			Nitzschia spp.	375
16			Skeletonema potamos	1000
17			Ulnaria japonica	
18			Ulnaria sp.	
19			Thalassiosiraceae-5	18000
20			Thalassiosiraceae-10	6750
21	Thalassiosiraceae-25	50		
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	25
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+
24			Ankistrodesmus sp.	+
25			Chlorogonium spp.	25
26			Coelastrum spp.	+
27			Cosmarium sp.	25
28			Crucigenia lauterbornii	+
29			Crucigeniella crucifera	+
30			Dichotomococcus sp.	+
31			Dictyosphaerium spp.	200
32			Elakatothrix spp.	+
33			Golenkinia sp.	
34			Micractinium spp.	100
35			Monoraphidium spp.	+
36			Oocystis spp.	100
37			Pediastrum asymmetricum	8
38			Pediastrum duplex	64
39			Pediastrum simplex	+
40			Pediastrum tetras	8
41			Polyedriopsis spinulosa	
42			Scenedesmus acuminatus	+
43			Scenedesmus bicaudatus	100
44			Scenedesmus denticulatus	
45			Scenedesmus spp.	750
46			Schroederia spp.	100
47			Treubaria spp.	+
48			CHLOROPHYCEAE	175
49	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1
50			Polyarthra spp.	2
51			Schizocerca diversicornis	
52			Synchaeta sp.	1
53			Trichocercidae	2
54			EUROTATOREA	1
55	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+
56			多膜口	Tintinnidium spp.
57		POLYHYMENOPHORA	50	
58		-	CILIOPHORA	25
59	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
60	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	325
61			鞭毛藻	50
62			鞭毛虫	150

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 8. 9	2023. 8. 9
総数		30962	39872
種類組成	藍藻	325	526
	クリプト藻	1500	900
	渦鞭毛藻	0	0
	黄色藻	0	0
	珪藻	26850	36475
	ユーグレナ藻	25	0
	その他の植物性	1655	1415
	動物性	375	300
検査条件		232	256
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2023. 8. 25	2023. 8. 25		
採取時刻			9:55	10:21		
全水深 (m)			2.10	1.51		
採取水深 (m)			0.50	0.50		
採水量 (ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(25)	(+)	
2			Merismopedia spp.	(75)	(25)	
3			Microcystis aeruginosa	+	150	
4			Microcystis wesenbergii	+		
5			Pseudanabaena sp.		(+)	
6			Nostocaceae		(+)	
7			CHROOCOCCALES		(75)	(125)
8			OSCILLATORIALES		(300)	(850)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	325	475	
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+	
11	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira granulata	50	150	
12			Fragilaria sp.		+	
13			Nitzschia acicularis	25	950	
14			Nitzschia fruticosa	+	100	
15			Nitzschia spp.	400	1650	
16			Skeletonema potamos	1175	350	
17			Surirella sp.		1	
18			Ulnaria japonica	+		
19			Thalassiosiraceae-5	11250	40750	
20			Thalassiosiraceae-10	5000	8000	
21			Thalassiosiraceae-25	25		
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+		
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+	
24			Chlorogonium spp.	250	150	
25			Chodatella sp.		+	
26			Coelastrum sp.		+	
27			Crucigeniella crucifera	400	500	
28			Dichotomococcus spp.	+	150	
29			Dictyosphaerium spp.	200	2500	
30			Didymocystis sp.	+		
31			Gonium sp.		16	
32			Monoraphidium spp.		125	
33			Oocystis sp.		100	
34			Pediastrum asymmetricum	16	+	
35			Pediastrum biradiatum	+		
36			Pediastrum duplex	64	+	
37			Pediastrum simplex	96	+	
38			Pediastrum tetras	16	16	
39			Polyedriopsis spinulosa	25		
40			Scenedesmus acuminatus		+	
41			Scenedesmus bicaudatus	+	+	
42			Scenedesmus denticulatus	+	+	
43			Scenedesmus spp.	850	1800	
44			Schroederia spp.	+	25	
45			Tetraedron sp.		25	
46			Tetrastrum elegans	+		
47			Tetrastrum heterocanthum	100		
48				CHLOROPHYCEAE	200	725
49	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	1		
50			Filinia sp.		1	
51			Polyarthra spp.		3	
52			Trichocercidae	1	1	
53		EUROTATOREA		6		
54	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+	
55		多膜口	Tintinnidium spp.	+	3	
56			POLYHYMENOPHORA	+	25	
57			CILIOPHORA	+	50	
58	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	175	275	
59			鞭毛藻	25	50	
60			鞭毛虫	100	150	

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 8. 25	2023. 8. 25
総数		21244	60272
種類組成	藍藻	475	1150
	クリプト藻	325	475
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	17925	51951
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	2217	6132
	その他の植物性動物性	200	325
		102	239
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2023. 9. 15	2023. 9. 15		
採取時刻		12:43	13:14		
全水深 (m)		1.90	1.53		
採取水深 (m)		0.50	0.50		
採水量 (ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	(100)
2			Cyanodictyon spp.	(250)	(125)
3			Merismopedia spp.	(150)	(125)
4			Pseudanabaena sp.	(+)	
5			CHROOCOCCALES	(500)	(250)
6			OSCILLATORIALES	(75)	(1100)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1500	1600
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	50
9	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasi		+
10			Aulacoseira ambigua		200
11			Aulacoseira pusilla		150
12			Aulacoseira granulata	+	150
13			Fragilaria spp.	+	75
14			Navicula sp.		+
15			Nitzschia acicularis	150	650
16			Nitzschia fruticosa	200	+
17			Nitzschia spp.	125	600
18			Pinnularia sp.		+
19			Skeletonema potamos	2050	100
20			Surirella sp.	+	
21			Thalassiosiraceae-5	9250	9750
22			Thalassiosiraceae-10	2500	2250
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	25
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
25			Ankistrodesmus sp.	+	
26			Chlorogonium spp.	50	200
27			Coelastrum sp.	+	
28			Crucigenia lauterbornii	100	100
29			Crucigeniella crucifera	+	+
30			Dichotomococcus spp.	+	100
31			Dictyosphaerium spp.	200	1000
32			Eudorina sp.	+	
33			Micractinium spp.	+	100
34			Monoraphidium spp.	25	150
35			Oocystis sp.	50	
36			Pandorina morum		16
37			Pediastrum duplex		16
38			Pediastrum simplex	+	64
39			Polyedriopsis spinulosa		+
40			Scenedesmus acuminatus	+	+
41			Scenedesmus bicaudatus		0
42			Scenedesmus denticulatus	+	+
43			Scenedesmus spp.	700	900
44			Schroederia spp.		75
45			Tetraedron sp.	25	
46			CHLOROPHYCEAE	1250	425
47	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		+
48			Brachionus sp.		1
49			Trichocercidae	2	1
50			EUROTATOREA	+	4
51	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	
52			POLYHYMENOPHORA	75	100
53			CILIOPHORA	+	50
54	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
55	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	125	150
56			鞭毛藻	50	25
57			鞭毛虫	125	150

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 9. 15	2023. 9. 15
総数		19579	20927
種類組成	藍藻	1025	1700
	クリプト藻	1500	1600
	渦鞭毛藻	0	50
	黄色藻	0	0
	珪藻	14275	13925
	ユーグレナ藻	0	25
	その他の植物性	2400	3146
	動物性	175	175
検査条件		204	306
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2023.9.26	2023.9.26
採取時刻			13:22	13:47
全水深(m)			1.95	1.43
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(150)
2			Cyanodictyon spp.	(375)
3			Merismopedia spp.	(+)
4			Microcystis wesenbergii	+
5			Nostocaceae	+
6			CHROOCOCCALES	(50)
7			OSCILLATORIALES	(25)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	4500
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+
11	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasii	25
12			Aulacoseira granulata	+
13			Fragilaria sp.	+
14			Navicula sp.	+
15			Nitzschia acicularis	+
16			Nitzschia fruticosa	+
17			Nitzschia spp.	25
18			Pinnularia sp.	+
19			Skeletonema potamos	925
20			Staurosirella berolinensis	+
21			Surirella sp.	+
22			Ulnaria japonica	+
23			Ulnaria spp.	+
24			Thalassiosiraceae-5	2375
25			Thalassiosiraceae-10	1650
26			Thalassiosiraceae-25	+
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
28	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	+
29			Actinastrum spp.	+
30			Ankyra sp.	+
31			Chlorogonium spp.	150
32			Coelastrum sp.	+
33			Crucigenia lauterbornii	200
34			Dictyosphaerium spp.	100
35			Elakatothrix sp.	+
36			Eudorina sp.	+
37			Golenkinia sp.	+
38			Micractinium sp.	+
39			Monoraphidium sp.	25
40			Pediastrum duplex	16
41			Pediastrum simplex	32
42			Pediastrum biradiatum	+
43			Polyedriopsis spinulosa	+
44			Scenedesmus acuminatus	+
45			Scenedesmus spp.	+
46			Schroederia spp.	25
47			Tetraedron spp.	+
48	CHLOROPHYCEAE	1250		
49	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.	+
50			Trichocercidae	1
51	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1
52			Tintinnidium spp.	+
53		多膜口	POLYHYMENOPHORA	25
54			CILIOPHORA	50
55	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻(5μm以下)	25
56			鞭毛藻	200
57			鞭毛虫	50

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 9. 26	2023. 9. 26
総数		11483	39938
種類組成	藍藻	50	875
	クリプト藻	4500	3000
	渦鞭毛藻	25	25
	黄金色藻	0	0
	珪藻	5000	32125
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	1557	3482
	その他の植物性動物性	225	175
	動物性	126	256
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2023.10.11	2023.10.11		
採取時刻			13:22	13:53		
全水深(m)			2.00	1.38		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(25)	(125)	
2			Merismopedia spp.	(+)	(100)	
3			Microcystis aeruginosa			25
4			Microcystis wesenbergii		+	
5			Pseudanabaena sp.			(+)
6			Pseudanabaenaceae		(+)	
7			CHROCOCCALES		(125)	(200)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1875	3750	
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		+	
10			Peridinium spp.	100	100	
11	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasii	+		
12			Aulacoseira ambigua			600
13			Aulacoseira pusilla			+
14			Aulacoseira granulata			100
15			Navicula sp.			+
16			Nitzschia acicularis		+	125
17			Nitzschia fruticosa		+	+
18			Nitzschia spp.		25	25
19			Pinnularia sp.			+
20			Skeletonema potamos		14500	22125
21			Surirella sp.			+
22			Thalassiosiraceae-5		4250	5500
23			Thalassiosiraceae-10		2250	2875
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	+	
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	200	+	
26			Chlorogonium spp.	100	275	
27			Coelastrum spp.	+	+	
28			Dichotomococcus sp.			25
29			Dictyosphaerium spp.	100	100	
30			Micractinium spp.	+	+	
31			Monoraphidium spp.	25	50	
32			Pediastrum duplex			+
33			Pediastrum tetras	+		
34			Scenedesmus acuminatus			+
35			Scenedesmus bicaudatus			+
36			Scenedesmus spp.	150	250	
37			Schroederia spp.	+	25	
38			Tetraedron sp.			25
39	CHLOROPHYCEAE		200	300		
40	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1	
41			Trichocercidae			1
42	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	1	
43			POLYHYMENOPHORA	25	100	
44			CILIOPHORA	+	50	
45	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+		
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	100	
47			鞭毛藻		75	125
48			鞭毛虫		450	300

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023. 10. 11	2023. 10. 11
総数		24526	37378
種類組成	藍藻	150	450
	クリプト藻	1875	3750
	渦鞭毛藻	100	100
	黄色藻	0	0
	珪藻	21025	31350
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	775	1050
	その他の植物性動物性	125	225
		476	453
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2023.10.26	2023.10.26		
採取時刻			9:22	9:46		
全水深(m)			1.78	1.31		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(75)	
2			Cyanodictyon sp.		(+)	
3			Merismopedia spp.	(25)	(75)	
4			CHROOCOCCALES		(125)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1000	2750	
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		25	
7	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		2	
8			珪藻	Aulacoseira granulata		+
9				Fragilaria sp.		25
10				Navicula sp.		+
11				Nitzschia acicularis	25	725
12				Nitzschia fruticosa		+
13				Nitzschia spp.	225	1075
14				Pinnularia sp.		+
15				Skeletonema potamos	116250	20250
16				Surirella sp.	1	
17				Thalassiosiraceae-5	4750	6500
18				Thalassiosiraceae-10	2250	2500
19				Thalassiosiraceae-25		25
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Euglena sp.	+	
21	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+	
22			Chlorogonium spp.		75	
23			Dictyosphaerium sp.		200	
24			Monoraphidium spp.	25	125	
25			Pediastrum duplex	8		
26			Pediastrum simplex	32	+	
27			Scenedesmus acuminatus		+	
28			Scenedesmus bicaudatus		+	
29			Scenedesmus spp.	50	400	
30			Schroederia spp.		50	
31			Ulothrix sp.	+		
32			CHLOROPHYCEAE	200	250	
33	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		+	
34			Trichocercidae	1	5	
35			EUROTATOREA		2	
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		3	
37			POLYHYMENOPHORA		50	
38			-	CILIOPHORA	+	+
39	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		+	
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	200	125	
41			鞭毛藻	75	100	
42			鞭毛虫	200	750	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023.10.26	2023.10.26
総数		125317	36287
種類組成	藍藻	25	275
	クリプト藻	1000	2750
	渦鞭毛藻	0	25
	黄色藻	0	0
	珪藻	123501	31100
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	315	1100
	その他の植物性動物性	275	227
検査条件		201	810
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		採取年		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採取水量 (ml)	
採取地		採取年		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採取水量 (ml)	
採取地		採取年		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採取水量 (ml)	
採取地		採取年		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採取水量 (ml)	
採取地		採取年		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採取水量 (ml)	
採取地		採取年		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採取水量 (ml)	
No.	門	綱	出現種名								
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.		(25)	(125)					
2			Microcystis wesenbergii			+					
3			Pseudanabaena sp.		(25)						
4			CHROOCOCCALES		(50)	(25)					
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE		500	250					
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		+						
7			Peridinium sp.		25						
8	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasii		+						
9			Aulacoseira granulata		+						
10			Navicula sp.		+						
11			Nitzschia acicularis			+					
12			Nitzschia fruticosa		+	+					
13			Nitzschia spp.		75	200					
14			Skeletonema potamos		18000	21250					
15			Thalassiosiraceae-5		6750	3750					
16			Thalassiosiraceae-10		400	375					
17			Thalassiosiraceae-25			+					
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+						
19			Phacus sp.		+						
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+						
21			Ankistrodesmus sp.			+					
22			Chodatella wratislawiensis			+					
23			Crucigenia tetrapedia			+					
24			Dictyosphaerium sp.			+					
25			Micractinium spp.			+					
26			Pediastrum duplex			+					
27			Pediastrum simplex					8			
28			Scenedesmus spp.			+		850			
29			CHLOROPHYCEAE			75		200			
30	輪形動物	輪虫	Trichocercidae							2	
31	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA								2
32			多膜口	Tintinnidium spp.		+					
33		POLYHYMENOPHORA		+							100
34		-		CILIOPHORA							
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)								50
36			鞭毛虫								
総数					26050	27159					
種類組成		藍藻		100	150						
		クリプト藻		500	250						
		渦鞭毛藻		25	0						
		黄金色藻		0	0						
		珪藻		25225	25575						
		ユーグレナ藻		0	0						
		緑藻		75	1058						
		その他の植物性		50	0						
		動物性		75	126						
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理							
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。							
		検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。							
		検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人							
備考											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>											

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央				
採取年月日		2023. 11. 21	2023. 11. 21				
採取時刻		9:53	10:16				
全水深 (m)		1.80	1.31				
採取水深 (m)		0.50	0.50				
採水量 (ml)		100	100				
No.	門	網	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(+)		
2			Merismopedia spp.	(+)	(35)		
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	105	375		
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		20		
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	5			
6			珪藻	Aulacoseira pusilla	+		
7				Fragilaria sp.	+		
8				Nitzschia acicularis	10	5	
9				Nitzschia fruticosa	+		
10				Nitzschia spp.	20	30	
11				Skeletonema potamos	16500	15875	
12				Thalassiosiraceae-5	3500	2000	
13				Thalassiosiraceae-10	1750	375	
14			Thalassiosiraceae-25	5	+		
15			緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.		20
16					Dictyosphaerium sp.	+	
17					Micractinium spp.	80	40
18					Pediastrum asymmetricum	+	
19	Pediastrum simplex	+					
20	Scenedesmus acuminatus				20		
21	Scenedesmus spp.	30			150		
22	Tetraedron sp.				+		
23	CHLOROPHYCEAE	50			40		
24	絨毛虫	多膜口			Tintinnidium sp.		+
25			POLYHYMENOPHORA	5			
26			—	CILIOPHORA	5		
27	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		+		
28	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	+	10		
29			鞭毛藻		20		
30			鞭毛虫		20	60	
総数				22085	19075		
種類組成		藍藻	藻	0	35		
		クリプト藻	藻	105	375		
		渦鞭毛藻	藻	0	20		
		黄金色藻	藻	5	0		
		珪藻	藻	21785	18285		
		ユーグレナ藻	藻	0	0		
		緑藻	藻	160	270		
		その他の植物性	動物性	0	30		
		動物性	動物性	30	60		
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。				
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。				
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人				
備考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属とGolenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>							

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下		手賀沼中央		
採取年月日		2023.12.5		2023.12.5		
採取時刻		13:32		14:04		
全水深(m)		1.84		1.35		
採取水深(m)		0.50		0.50		
採水量(ml)		100		100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(+)		
2			Merismopedia spp.		(10)	
3			OSCILLATORIALES	(+)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1100	2450	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	20	25	
6	不等毛植物	珪藻	黄金色藻	Synura sp.	+	
7			Aulacoseira pusilla	20	45	
8			Aulacoseira granulata	+	+	
9			Fragilaria sp.	+		
10			Melosira varians	8		
11			Nitzschia acicularis	+	15	
12			Nitzschia fruticosa		40	
13			Nitzschia spp.	10	25	
14			Skeletonema potamos	11600	6400	
15			Staurosirella berolinensis	+		
16			Ulnaria japonica	15	10	
17	Thalassiosiraceae-5	1150	2000			
18	Thalassiosiraceae-10	2900	4400			
19	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.	+		
20			Dictyosphaerium sp.	20		
21			Micractinium spp.	+	70	
22			Monoraphidium sp.		5	
23			Pediastrum duplex		16	
24			Scenedesmus acuminatus		+	
25			Scenedesmus spp.	20	20	
26			Schroederia sp.	5		
27			Staurastrum sp.	+		
28			Tetraedron spp.		10	
29			CHLOROPHYCEAE	85	195	
30	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		3	
31			POLYHYMENOPHORA		15	
32			-	CILIOPHORA	+	10
33	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		+	
34	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	25	
35			鞭毛藻	100	75	
36			鞭毛虫	50	50	
総数				17153	15914	
種類組成		藍藻	0	10		
		クリプト藻	1100	2450		
		渦鞭毛藻	20	25		
		黄金色藻	0	0		
		珪藻	15703	12935		
		ユーグレナ藻	0	0		
		緑藻	130	316		
		その他の植物性	150	100		
		動物性	50	78		
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2023.12.21	2023.12.21		
採取時刻		9:54	11:13		
全水深(m)		1.64	1.14		
採取水深(m)		0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(5)	
2			Pseudanabaena sp.	(5)	
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	550	1450
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10	25
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	5	+
6		珪藻	Asterionella formosa		+
7			Aulacoseira pusilla	40	20
8			Aulacoseira granulata	+	20
9			Fragilaria sp.		+
10			Nitzschia acicularis	40	10
11			Nitzschia fruticosa	+	+
12			Nitzschia spp.	5	5
13			Skeletonema potamos	25500	10950
14			Ulnaria japonica	20	5
15			Thalassiosiraceae-5	750	425
16			Thalassiosiraceae-10	1800	2800
17			Thalassiosiraceae-25		5
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+
20			Chlorogonium spp.	5	10
21			Dictyosphaerium spp.	40	+
22			Micractinium spp.	10	+
23			Scenedesmus spp.	30	30
24			Tetrastrum elegans	20	+
25			CHLOROPHYCEAE	90	90
26	絨毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	20	50
27		-	CILIOPHORA	+	+
28	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)		+
29			鞭毛藻	50	25
30			鞭毛虫	50	75
総数				29045	15995
種類組成		藍藻	藻	10	0
		クリプト藻	藻	550	1450
		渦鞭毛藻	藻	10	25
		黄金色藻	藻	5	0
		珪藻	藻	28155	14240
		ユーグレナ藻	藻	0	0
		緑藻	藻	195	130
		その他の植物性	動物性	50	25
		動物性		70	125
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属とGolenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2024.1.9	2024.1.9	
採取時刻			9:25	9:50	
全水深(m)			1.82	1.25	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(5)	
2			Microcystis aeruginosa	+	
3			Pseudanabaena spp.	(15)	
4			CHROOCOCCALES	(10)	
5			OSCILLATORIALES	(5)	
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	40	
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15	
8	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+	
9			珪藻	Aulacoseira ambigua	60
10				Aulacoseira pusilla	20
11				Cymatopleura solea	1
12				Fragilaria sp.	5
13				Melosira varians	4
14				Nitzschia acicularis	20
15				Nitzschia fruticosa	+
16				Nitzschia spp.	5
17				Skeletonema potamos	870
18				Stausirella berolinensis	
19				Ulnaria japonica	90
20				Thalassiosiraceae-5	1000
21				Thalassiosiraceae-10	11150
22	Thalassiosiraceae-25				
23	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	80	
24			Chodatella quadriseta		
25			Coelastrum spp.	+	
26			Crucigeniella sp.	+	
27			Dictyosphaerium spp.	+	
28			Micractinium spp.	10	
29			Oocystis sp.		
30			Pediastrum simplex		
31			Scenedesmus acuminatus		
32			Scenedesmus spp.	20	
33			Staurastrum sp.	+	
34			Tetraedron spp.	+	
35			Treubaria sp.		
36			CHLOROPHYCEAE	75	
37	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+	
38			POLYHYMENOPHORA	5	
39			CILIOPHORA	+	
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	100	
41			鞭毛藻	25	
42			鞭毛虫	25	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024.1.9	2024.1.9
総数		13650	28116
種類組成	藍藻	30	20
	クリプト藻	40	40
	渦鞭毛藻	15	10
	黄色藻	0	0
	珪藻	13225	27440
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	185	341
	その他の植物性動物性	125	200
		30	65
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2024.1.23	2024.1.23		
採取時刻			13:14	13:38		
全水深(m)			1.82	1.40		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(5)	(+)	
2			Pseudanabaena spp.	(5)	(45)	
3			CHROOCOCCALES	(10)		
4			OSCILLATORIALES	(15)	(15)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	80	180	
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		5	
7	不等毛植物	珪藻	黄金色藻	10		
8			Asterionella formosa		+	
9			Aulacoseira ambigua		+	15
10			Aulacoseira pusilla		+	40
11			Fragilaria spp.		15	5
12			Navicula sp.		+	
13			Nitzschia acicularis		80	75
14			Nitzschia fruticosa			20
15			Nitzschia spp.		15	30
16			Skeletonema potamos		820	1610
17			Ulnaria japonica		55	60
18			Ulnaria spp.		+	+
19			Thalassiosiraceae-5		850	2550
20			Thalassiosiraceae-10		22650	41750
21	Thalassiosiraceae-25		+			
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+	
23			Chlorogonium spp.		5	30
24			Crucigeniella sp.			20
25			Dictyosphaerium spp.		40	+
26			Golenkinia sp.		5	
27			Micractinium spp.		20	40
28			Pandorina morum		+	
29			Scenedesmus bicaudatus		40	
30			Scenedesmus spp.		60	20
31			Schroederia sp.			+
32			Tetraedron sp.			+
33			Tetrastrum elegans		20	
34			CHLOROPHYCEAE		110	50
35			絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+
36	POLYHYMENOPHORA	+			20	
37	CILIOPHORA				+	
38	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻(5μm以下)	225	150	
39			鞭毛藻	50	25	
40			鞭毛虫	150	100	

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 1. 23	2024. 1. 23
総数		25335	46855
種類組成	藍藻	35	60
	クリプト藻	80	180
	渦鞭毛藻	0	5
	黄金色藻	10	0
	珪藻	24485	46155
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	300	160
	その他の植物性動物性	275	175
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2024.2.8	2024.2.8			
採取時刻			13:26	13:53			
全水深(m)			1.86	1.40			
採取水深(m)			0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(5)			
2			Pseudanabaena spp.	(+)			
3			CHROOCOCCALES	(10)	(45)		
4			OSCILLATORIALES	(30)	(15)		
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25	35		
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+		
7	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	38			
8			Mallomonas sp.		+		
9		珪藻	Asterionella formosa			4	
10			Aulacoseira ambigua			+	
11			Aulacoseira pusilla	20		90	
12			Fragilaria spp.	5		5	
13			Melosira varians	2			
14			Navicula sp.		+		
15			Nitzschia acicularis	80		120	
16			Nitzschia fruticosa		+		
17			Nitzschia spp.	10		5	
18			Skeletonema potamos	170		285	
19			Ulnaria japonica	190		160	
20			Ulnaria sp.		+		
21			Thalassiosiraceae-5	1100		1650	
22			Thalassiosiraceae-10	22700		45700	
23			Thalassiosiraceae-25	5		5	
24			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+
25			緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		20
26	Chlorogonium spp.	5				20	
27	Chodatella quadriseta	5					
28	Dictyosphaerium sp.					20	
29	Micractinium spp.	30				30	
30	Monoraphidium spp.	5				10	
31	Pandorina morum					+	
32	Scenedesmus acuminatus	20					
33	Scenedesmus spp.	50				40	
34	Tetraedron sp.	5					
35		CHLOROPHYCEAE			50		45
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1		
37			POLYHYMENOPHORA		+	10	
38		-	CILIOPHORA		5		
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	25	25		
40			鞭毛藻	75	25		
41			鞭毛虫	25	100		

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024.2.8	2024.2.8
総数		24690	48465
種類組成	藍藻	45	60
	クリプト藻	25	35
	渦鞭毛藻	0	0
	黄色藻	38	0
	珪藻	24282	48024
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	170	185
	その他の植物性動物性	100	50
検査条件		30	111
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2024. 2. 19	2024. 2. 19			
採取時刻			11:05	10:28			
全水深 (m)			1.80	1.35			
採取水深 (m)			0.50	0.50			
採水量 (ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(+)			
2			Aphanocapsa spp.	(10)	(20)		
3			Merismopedia spp.	(+)	(5)		
4			Pseudanabaena spp.	(10)	(15)		
5			CHROCOCCALES	(5)			
6			OSCILLATORIALES	(10)	(15)		
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	10	10		
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	+			
9	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+			
10			Mallomonas sp.	+			
11		珪藻	Asterionella formosa		+		
12			Aulacoseira ambigua	40	15		
13			Aulacoseira pusilla	65	35		
14			Bacillaria paxillifer	+			
15			Fragilaria spp.	15	10		
16			Melosira varians	6	+		
17			Nitzschia acicularis	460	700		
18			Nitzschia fruticosa	10	+		
19			Nitzschia spp.	35	65		
20			Skeletonema potamos	870	1470		
21			Staurosirella berolinensis	20	+		
22			Surirella sp.	1			
23			Ulnaria japonica	210	165		
24			Ulnaria sp.	5			
25			Thalassiosiraceae-5	625	2200		
26			Thalassiosiraceae-10	16900	48550		
27			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
28			緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40	20
29	Chlorogonium spp.				15		
30	Chodatella quadriseta	5					
31	Dictyosphaerium spp.	100			20		
32	Micractinium sp.				20		
33	Monoraphidium sp.				5		
34	Scenedesmus spp.	30			130		
35	Schroederia spp.	10					
36	CHLOROPHYCEAE	60			35		
37	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+			
38	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	2		
39			POLYHYMENOPHORA	+	25		
40		-	CILIOPHORA	5	+		
41	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+			
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	75	150		
43			鞭毛藻	50	50		
44			鞭毛虫	50	25		

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 2. 19	2024. 2. 19
総数		19733	53772
種類組成	藍藻	35	55
	クリプト藻	10	10
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	19262	53210
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	245	245
	その他の植物性動物性	125	200
検査条件		56	52
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央			
採取年月日		2024.3.4	2024.3.4			
採取時刻		10:04	9:39			
全水深(m)		1.89	1.21			
採取水深(m)		0.50	0.50			
採水量(ml)		100	100			
No.	門	網	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(5)	(5)	
2			Pseudanabaena spp.	(5)	(10)	
3			CHROOCOCCALES	(5)		
4			OSCILLATORIALES		(5)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	15	+	
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+	
7	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	4		
8			Aulacoseira ambigua	85	20	
9			Aulacoseira pusilla	70	130	
10			Aulacoseira granulata	+		
11			Fragilaria spp.	5	5	
12			Melosira varians	6	28	
13			Nitzschia acicularis	425	550	
14			Nitzschia spp.	20	20	
15			Skeletonema potamos	2430	3750	
16			Staurosirella berolinensis		+	
17			Surirella sp.		+	
18			Ulnaria japonica	65	150	
19			Thalassiosiraceae-5	950	900	
20	Thalassiosiraceae-10	29700	51600			
21	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		20	
22			Chlorogonium spp.	15	+	
23			Dichotomococcus sp.		20	
24			Dictyosphaerium spp.	20	+	
25			Micractinium sp.		20	
26			Scenedesmus acuminatus		20	
27			Scenedesmus spp.	40	80	
28			Staurostrum sp.		1	
29			CHLOROPHYCEAE	40	85	
30			輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	
31	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	+	
32			Tintinnidium sp.	+		
33		多膜口	POLYHYMENOPHORA		+	
34			CILIOPHORA	10	+	
35	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+		
36	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	75	
37			鞭毛藻		50	75
38			鞭毛虫		125	75
総数				34240	57644	
種類組成		藍藻		15	20	
		クリプト藻		15	0	
		渦鞭毛藻		0	0	
		黄金色藻		0	0	
		珪藻		33760	57153	
		ユーグレナ藻		0	0	
		緑藻		115	246	
		その他の植物性動物性		200	150	
		135	75			
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
		検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコムは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		採取年		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)			
手賀沼中央		2024. 3. 11		13:08		1.94		0.50		100			
No.	門	綱	出現種名										
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.									(+)	
2			Aphanocapsa spp.									(10)	
3			Pseudanabaena spp.									(10)	
4			OSCILLATORIALES									(5)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE									10	15
6	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa									+	
7			Aulacoseira ambigua									+	
8			Aulacoseira pusilla									+	40
9			Fragilaria spp.									5	25
10			Melosira varians									+	
11			Nitzschia acicularis									250	370
12			Nitzschia fruticosa									30	
13			Nitzschia spp.									15	35
14			Skeletonema potamos									1200	2275
15			Ulnaria japonica									80	55
16			Ulnaria spp.									5	5
17			Thalassiosiraceae-5									775	900
18			Thalassiosiraceae-10									24350	46400
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.									80	
20			Chlorogonium spp.									15	
21			Chodatella quadriseta									5	
22			Dictyosphaerium spp.									+	40
23			Micractinium spp.									10	20
24			Monoraphidium spp.									5	5
25			Scenedesmus spp.									20	20
26			Schroederia sp.									5	
27			CHLOROPHYCEAE									70	10
28	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.									+	
29	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.									+	
30			POLYHYMENOPHORA									5	
31		CILIOPHORA									+		
32	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA									+	
33	不明プランクトン	微小鞭毛藻 (5 μm以下)									175	25	
34		鞭毛藻									75	50	
35		鞭毛虫									150	75	
総		数										27345	50400
種類組成				藍藻								20	20
				クリプト藻								10	15
				渦鞭毛藻								0	0
				黄金色藻								0	0
				珪藻								26710	50105
				ユーグレナ藻								0	0
				緑藻								200	105
				その他の植物性								250	75
				動物性								155	80
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理									
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。									
		検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。									
		検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人									
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコムは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>											